

春光懇話会会報

Wave21

2024.11

No. 190

特集 わが社の憩いの場



www.shunko.jp

トップインタビュー

春光会22社の社長にご登場いただき、ご自身のプロフィールを語っていただきます。生い立ち、お若い頃の思い出、会社生活のこと等々、いろいろとお伺い致します。
今回はUDトラックス 丸山社長にインタビューさせていただきました。よろしくお願い致します。



UDトラックス

代表取締役社長 丸山 浩二

生年月日 1960(昭和35)年5月13日
出身地 埼玉県熊谷市
最終学歴 明治大学政治経済学部
略歴 1985年 日産ディーゼル工業
(現UDトラックス)入社
2018年 国内営業部門責任者
2022年 代表取締役社長
趣味 散歩、読書

——幼少期を振り返ってお話いただければと思います。

埼玉県の北部、群馬県寄りの熊谷市で生まれ育ちました。当時そのあたりはまだ田舎でしたので、小さなころは虫捕りなど、外で遊び回っていましたね。中学校ではバレーボールをやっていまして、結構強いチームでいろいろな大会に出場していました。私は小柄だったので、ポジションはセッターやレシーバーでした。また、生徒会長を務めたりもして、とても活動的な中学生でしたね。

——高校生のころはいかがでしたか？

地元の高校に入学して、それを機にバレーボールはやめました。身長も含めて、高校では通じないと判断した結果です。そして中学校時代とは対照的に、ずっと本を読んでいましたね。担任が現代国語の先生で触発されたというか、時間があると本ばかり読んでいて、夏目漱石、森鷗外、太宰治など、ほとんど読破したと思います。とにかく、勉強もしないで読書に没頭していました。部活動は生物部でしたが、特に熱心というわけではなかったですね。

——大学入試や大学生活についてお聞かせください。

専攻するなら、経営学か政治経済学かなと思っていたところ、私が進んだ大学には政治経済学部があり、それなら両方学べそうだと思い、政治経済を選びました。大学では勉学と遊びを両立させていたと思います。授業にはしっかり出席して、一方では友人たちとスキーやテニスを楽しんでいましたね。

3年生からのゼミも経済関係を選びました。基本

的に経済学言論のゼミでしたが、会社に入って、後にマーケティングを担当することになったとき、統計学的手法を用いて経済現象を分析する、計量経済学も学生時代にしっかり学んでおけばよかったと思いました。

——就職活動は、当時どのような感じだったのでしょうか？

当時はバブル景気が始まる前で、就職活動は厳しい時期でした。私が通っていた大学は金融関係が強くて、特に証券会社に関しては先輩からも随分と話があったのですけれども、私はむしろ製造業（メーカー）に興味がありました。その業種なら入社後いろいろなことに取り組めるかなという期待もありました。調べてみると、埼玉県内には製造業が少なからずあって、その中で私が通学に使っていた高崎線の沿線にこの会社もありました。

製造業を中心に各社を受けて、数社から内定をいただくことができ、その中でこの会社を選びました。当時この会社が埼玉県の製造業で一番大きかったことと、家から近かったことが主な理由でした。それ以外にも、最終面接をしてくれた当時の人事部長の人柄に惹かれたというか、この会社だったら面白いかなと思ったことも大きな決め手になりましたね。

——入社後、いろいろなことに取り組めたのでしょうか？

最初は購買関係を希望していましたが、生産管理に配属され、当時新設された群馬工場約4年間働きました。生産管理はさまざまなものづくりの全工程が分かる部署でして、開発の書いた設計図面をもとに、それを製造技術に落とし込む、部品

を手配・発注する、これらが届いたら実際の組み付けに移る、という一連の流れに関わることができます。私は昔から凝り性なところがあって、これらのプロセスをかなり深く勉強しました。

その後、大阪へ異動になりました。業務は営業でトラックの販売です。住むところも仕事の内容もすべて変わって、車も全く売れず苦労しました。しかし、お客様の疑問や困りごとに真摯に向かい合い続けることで、少しずつ売れるようになり、いつの間にかトップセールスの域にまで達しました。大阪赴任は最長3年の予定でしたが、車を売り過ぎてしまったものですから、なかなか帰してくれず結局6年いましたね。

ようやく本社に戻れるかと思っていたら、今度は日産ディーゼル販売という、トラックの卸売会社の営業企画を担当することになりました。市場におけるトラックの需要予測から、販売計画の策定と達成への戦略を練る仕事を4～5年やりました。

その後、日産ディーゼル販売と日産ディーゼル工業の統合を機に、ようやく本社勤めとなりました。当時、全社的にマーケティングを強化する動きがあり、マーケティングの部署を立ち上げることになりました。このときも猛勉強して、マーケティングを基本から学び直しました。ちょうどそのころ、2005年の自動車排出ガス規制の強化（新長期規制）に適合するため、商用車として日本で初めて尿素SCR（Selective Catalytic Reduction）という触媒を使う、社運をかけたプロジェクトが立ち上がりました。私はそこに国内の営業代表として参加しました。開発や製造の責任者や役員とともに、どうやってこの車を売っていくかということを探求しました。このプロジェクトが無事軌道に乗り、その後、外資のボルボが入ってきたタイミングで、国内の販売ネットワークの再編が進められ、2012年に中部支社の支社長に任命されました。さらに、2015年から近畿支社長を務め、2018年に国内営業全体の責任者となり、その3年後に、今度は社長をやれということで現在のポジションにいます。

——丸山さんにとってのターニングポイントは？

入社してすぐに配属された群馬の4年と大阪の6年で、メーカーとしての生産の仕組みと営業やサービスの基本を学べたことが大きかったと思います。私たちがトラックを開発し、生産し、販売する一連の流れを最初の10年間で、ほぼすべて学べたことは本当に幸せだったと思っています。さらにその後担当した、新長期排ガス規制に対応する、尿素SCRという日本初のシステムを立ち上げ



◀営業成績で社内表彰された際、副賞の宮崎旅行で

▼近畿支社長時代の同僚たちと
(前列右から3人目)



るプロジェクトは、私にとっての正念場でした。マーケティング理論も含めて、社外のシンクタンクからも学びつつ、仕事もしながら、これが失敗したら会社が潰れてしまうな、と思っていたので、当時まだ40代でしたし、一番働いた時期かなと思っています。

——オフはどのように過ごしていっていますか？

ゴルフは趣味でやっていたのですが、数年前にヒジを痛めて、いまは全くやっていません。そのかわり、少し照れますが、休日は家内と散歩がてら毎週ランチに行っています。あとは時間があると、いろんな本を読んでいますね。ジャンルは問いません。歴史書とか宗教関係の本を読むこともありますし、マーケティングの本にも興味があります。ただ、最近読むスピードが落ちたなあ、ということは実感しています。

——若い人たちにメッセージをお願いします。

いま取り組んでいる仕事で、プロフェッショナルをめざしてほしいと思います。ただ与えられた仕事をやるのではなく、その分野で一番をめざす気持ちで、とことん学び、極めてほしいですね。あとは、私もそうですけれども、いろいろうまくいかないことがあります、その状況に前向きな姿勢で取り組むことが大切ですね。逃げずに前向きにやっていたら、必ず何とかなるものです。

また、現在UDトラックの本社では約30か国の方が働いていますが、ダイバーシティが進んでいるのが大きな強みだと思っています。若い人たちには、文化や宗教、習慣の違いを超えて、さまざまな人たちとの交流を深める機会をつくってほしいですね。

令和6年度 会員総会

9月2日(月)ホテルニューオータニ「芙蓉の間」において開催されました。
今年度は会員会社114社の役員など、約230名の方々が出席されました。

ご挨拶

春光会・春光懇話会会長
日立製作所名誉会長

川村 隆



川村でございます。本日はご多用のところ、令和6年度春光懇話会総会に多数の方々にご参集賜り、誠にありがとうございます。

この4月から、ようやくコロナを気にすることの無い新たな年度が始まりました。春光活動としましては昨年の上期あたりはまだ各社とも少し慎重な状況でしたが、昨年下半年あたりから、皆さまのご協力により、完全復活と言える状況になってきたと思います。

さて、昨今の世界情勢を見ますとロシアによるウクライナ侵攻、中東におけるパレスチナ自治区ガザでのハマスとイスラエルの軍事衝突は依然として停戦合意には至らず、引き続き世界経済に大きな影響を及ぼしています。さらに、中国経済の減速、欧州における極右勢力の台頭、そして、この11月のアメリカ大統領選挙など、これらの状況を常に注視し、経営への影響を見極めることが重要となっております。

また、国内経済においては、各社業績の向上や賃金上昇によりデフレ脱却が視野に入ってきている一方、輸入資源の高騰による物価高、慢性的な人手不足が経営上の大きな課題となっております。

これら様々な課題がある中で、各社がそれぞれ発展してゆくためには生成AIの活用なども含めたデジタル化の加速が不可欠であります。DXを活用することによる効率化・生産性の向上のみならず、DXを新たなビジネスの創生につなげてゆくことが重要となります。

先日、春光各社の事例発表会である「全体セミナー」を、「各社のDX・生成AI戦略」と題して実施しましたが、近年にないくらい大変多くの会員の方々に出席・聴講していただきました。

なぜこのようにAIに注力するかといいますと、近代

文明が出てきたのは産業革命の後で、ジェームス・ワットが動力革命で蒸気機関を作ったことが第一歩です。核分裂発電、核融合発電や電力貯蔵、バッテリーなどは発展途上であり最終完成形にまだなっておりませんが、第一次の革命は人間の筋肉労働の何倍もの働きができるものとなりました。第二次産業革命は知覚で、目、耳、鼻などの人間の能力を何倍にもする、テレビ、ラジオ、コンピューター、インターネットなどです。このようにして人間の筋肉や知覚が大きな機械でやれるようになり、では何が残ったのかというと頭です。人間の知能・頭脳の第三次産業革命が今の時代です。特に、我々のように物を作ったり加工したりが多い企業では、第三次すなわち人間の脳を機械に置き換えていくことが重要となり、機械に合わせる上で必要となるのがAIです。AIをどのように今の仕事に取り込み、変えていくかがあらゆる業種で大事になりますので、春光懇話会セミナーも盛況で多くの方の出席をいただけたのだと思います。ぜひともこの春光各社のつながり、人脈を最大限に活用していただき、お互いの情報交換や様々な企業間コラボレーションにつなげていってほしいと思います。

そのために春光活動では、「社長会」「事業協議会」といった経営幹部の集まりをはじめ、「営業部会」や「総務部長会」など様々な階層での交流を促進する場を用意しています。毎度のことでございますが、本日まで出席の経営幹部の皆さまにおかれましては、これらの活動に積極的に参加し他社の方々との繋がりを持っていただくとともに、部下の方の各会合への参加の働きかけをお願いします。

本日、この場は春光懇話会の活動に関するものが主



会員総会



懇親会

ですが、各社長様をはじめとする経営陣には、春光会も含めたご活動・互いの親睦の強化をお願いしております。企業の合併・離散等に伴う資本関係の大きな変更も多々発生する激動の時代に入っておりますが、激動だからこそ各企業間のつながりは以前にも増して重要になっております。各社長さんの間の人的つながりにより、地球規模的事項への対策や、DXを活用した新しい経営など、新しい動きをこの春光会・春光懇話会の活動の中から育むことも皆さまの課題認識の中にしっかりと残りますようお願い申し上げます。

さて、本日の総会には、4地域の春光懇話会会長にもご出席を戴いております。遠路にもかかわらず大変ご苦労様です。国内52ヶ所に広がる地域春光懇話会の運営につきましては地域会長の方々のご指導により特徴ある活動を戴いております。また、海外に目を転じますと、28ヶ所の海外春光懇話会も国内以上に活発に交流をされております。ぜひとも、地域ならではの創

意を凝らした取り組みにより、さらなる活性化をお願い致します。

今現在、企業の離合集散が多く今後さらに激しくなることが予想されますが、このような時こそ、資本関係を超えて仲良く人の繋がりを強く持っていただきたいと思います。

最後になりましたが、本日で参集の皆様方のご健勝と会員各社のご繁栄をお祈り致しまして、挨拶にかえさせて戴きます。ありがとうございました。



乾杯
春光会
春光懇話会副会長
ENEOSホールディングス
松下名誉顧問



中締め
春光会幹事
春光懇話会副会長
損害保険ジャパン
西澤顧問

<次第>

—総会—

1. 挨拶 春光会・春光懇話会会長
日立製作所 川村名誉会長

2. 紹介

【春光会】

会長	日立製作所	川村名誉会長
副会長	ENEOSホールディングス	松下名誉顧問
副会長	日産自動車	内田社長
幹事	三菱HCキャピタル	川部特別顧問
幹事	損害保険ジャパン	西澤顧問

【春光懇話会】

会長	日立製作所	川村名誉会長
副会長	日立造船	古川名誉顧問
副会長	ENEOSホールディングス	松下名誉顧問
副会長	三菱HCキャピタル	川部特別顧問
副会長	損害保険ジャパン	西澤顧問
副会長	日産自動車	内田社長

【春光会】

新会員	損害保険ジャパン	石川社長
	ENEOSホールディングス	宮田社長
	ENEOS	山口社長
	日立造船	桑原社長
	日産車体	富山社長
	ロジスティード	西川副社長
	NIPPO	和田社長

【地域春光懇話会会長】

秋田春光懇話会	秋田日産自動車	三浦会長
茨城春光懇話会	茨城日産自動車	加藤社長
埼玉春光懇話会	UDトラックス	

立川関東地域統括責任者

大阪春光懇話会	日立造船	谷所相談役
---------	------	-------

—懇親会—

3. 乾杯 春光会・春光懇話会副会長
ENEOSホールディングス 松下名誉顧問
4. 中締め 春光会幹事・春光懇話会副会長
損害保険ジャパン 西澤顧問

春光懇話会役員 2024年9月現在



会長 川村 隆
日立製作所 名誉会長



副会長 古川 実
日立造船 名誉顧問



副会長 松下 功夫
ENEOSホールディングス
名誉顧問



副会長 川部 誠治
三菱HCキャピタル
特別顧問



副会長 西澤 敬二
損害保険ジャパン 顧問



副会長 内田 誠
日産自動車 社長

春光会会員名簿

2024年11月現在

会 社 名	役 職	氏 名
(株)日立製作所	会 長	東原 敏昭
	社 長	小島 啓二
	◎名誉会長	川村 隆
日産化学(株)	会 長	木下 小次郎
	社 長	八木 晋介
SOMPOホールディングス(株)	社 長	奥村 幹夫
	特別顧問	二宮 雅也
損害保険ジャパン(株)	社 長	石川 耕治
	◇顧 問	西澤 敬二
日産自動車(株)	○社 長	内田 誠
	副社長	坂本 秀行
ENEOSホールディングス(株)	社 長	宮田 知秀
	名誉顧問	大田 勝幸
	名誉顧問	内田 幸雄
	○名誉顧問	松下 功夫
ENEOS(株)	社 長	山口 敦治
J X 石油開発(株)	社 長	中原 俊也
J X 金属(株)	会 長	村山 誠一
	社 長	林 陽一
(株)ニッスイ	社 長	浜田 晋吾
日油(株)	会 長	宮道 建臣
	社 長	沢村 孝司
(株)ニチレイ	社 長	大櫛 顕也
カナデビア(株)	会 長	三野 禎男
	社 長	桑原 道
	相談役	谷所 敬
	名誉顧問	古川 実
(株)プロテリアル	会長兼社長	Sean M Stack
	副社長	村上 和也
UDトラックス(株)	社 長	丸山 浩二
日立建機(株)	会 長	平野 耕太郎
	社 長	先崎 正文
三菱H C キャピタル(株)	会 長	柳井 隆博
	社 長	久井 大樹
	◇特別顧問	川部 誠治
(株)日立ハイテク	社 長	飯泉 孝
	名誉相談役	宮崎 正啓
日産車体(株)	社 長	富山 隆
ロジスティード(株)	会長兼社長	中谷 康夫
	副社長	西川 和宏
	名誉相談役	鈴木 登夫
SOMPOひまわり生命保険(株)	社 長	大場 康弘
(株)NIPPO	会 長	吉川 芳和
	社 長	和田 千弘

[注] ◎会長 ○副会長 ◇幹事

春光懇話会会長・副会長

2024年11月現在

	会 社 名	役 職	氏 名
会 長	(株)日立製作所	名誉会長	川村 隆
	カナデビア(株)	名誉顧問	古川 実
副会長	ENEOSホールディングス(株)	名誉顧問	松下 功夫
	三菱H C キャピタル(株)	特別顧問	川部 誠治
	損害保険ジャパン(株)	顧 問	西澤 敬二
	日産自動車(株)	社 長	内田 誠

事業協議会会員名簿

2024年11月現在

会 社 名	会 員 名	
(株)日立製作所	代表執行役 執行役専務CMO 長谷川 雅彦	理事 Deputy CHRO 瀧本 晋
日産化学(株)	取締役常務執行役員 松岡 健	執行役員 川島 渡
損害保険ジャパン(株)	常務執行役員 中尾 公哉	常務執行役員 矢崎 幹人
日産自動車(株)	専務執行役員 田川 丈二	理事 渉外担当役員 後藤 収
ENEOSホールディングス(株)	常務執行役員 CCO 荒木 信之	
ENEOS(株)	常務執行役員 布野 敦子	常務執行役員 荒木 信之
J X 石油開発(株)	取締役 副社長執行役員 高倉 昌孝	取締役 常務執行役員 吉良 仁秀
J X 金属(株)	常務執行役員 小松崎 寛	執行役員 小倉 靖
(株)ニッスイ	取締役専務執行役員 山本 晋也	執行役員 井上 浩志
日油(株)	常務執行役員 梅原 尚也	常務執行役員 首藤 健志郎
(株)ニチレイ	取締役上席執行役員 竹永 雅彦	取締役上席執行役員 田邊 弥
カナデビア(株)	常務執行役員 安田 俊彦	執行役員 峰村 健
(株)プロテリアル	常務執行役員 CSPO 増田 久己	執行役員 石川 桂
UDトラックス(株)	専務執行役員 柴崎 徹	バイスプレジデント 金丸 隆宏
日立建機(株)	執行役常務CHRO 豊島 聖史	執行役CDIO 遠西 清明
三菱H C キャピタル(株)	常務執行役員 澤田 真	常務執行役員 佐藤 泰弘
(株)日立ハイテク	代表取締役 専務執行役員 谷口 昌弘	常務執行役員 高橋 伸彰
日産車体(株)	取締役 専務執行役員 小滝 晋	CCO 牛込 正明
ロジスティード(株)	業務執行役員 材木 和彦	業務執行役員 名取 一茂
SOMPOひまわり生命保険(株)	常務執行役員 岩切 健一	執行役員COO 荒木 真悟
(株)NIPPO	取締役 常務執行役員 小林 直樹	執行役員 内山 尚典

新製品・新商品 紹介

タツタ電線

金ボンディングワイヤーと同等のボンディング性能を有し、50%以上のVAを実現 新製品「PGS(金コート銀ボンディングワイヤー)シリーズ」を量産開始

タツタ電線では半導体向けボールボンディング業界内において、金・銀・銅・パラジウムコート銅に続く製品として、金コート銀ワイヤー（PGSシリーズ）の開発に成功し、業界内での初量産を獲得しました。

ボールボンディングの実装工程は、ワイヤー先端を電極トーチでスパーク・溶解させて真球を形成させる工程から始まります。（FAB）

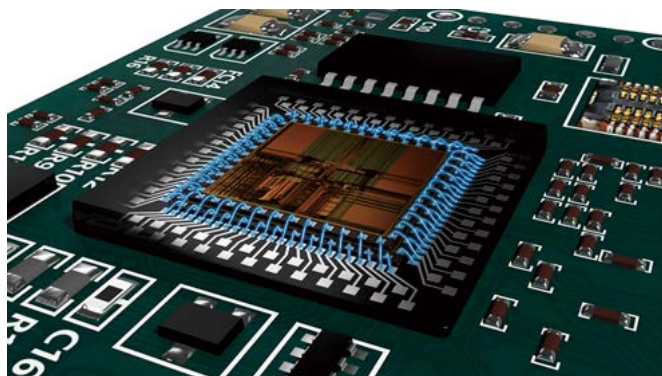
金ワイヤーの場合は大気下での真円形成が可能です。銅や銀ワイヤーはその金属の性質上、金属を溶解する際に大気中の酸素を取り込むが故に、真円物が形成できません。対策として還元ガスをFAB工程内に充填させ、酸素を取り込ませない設備改良、ガス配管・ガス流量の厳格な管理が必要となります。結果、金ワイヤーは今なお市場の1/3ほど残っています。

弊社のPGSシリーズは、芯材に金ワイヤー同等の高い信頼性を備える銀ワイヤーを開発し、かつ金めっきで覆うため、FAB形成時における酸素の取り込みを抑制することで、従来実現不可能だった真円形成を達成することが出来ます。その結果、高価な金ワイヤーから50%以上のVAを実現することが可能となります。

急激な金地金の高騰、および顧客間競争の激化に伴い、脱金・省金の動きが活発化する中で金ワイヤーからの置き換え需要も高まってきています。今後も顧客の課題に対し、積極的な開発を行って参りたいと思います。



タツタ電線のボンディングワイヤー製品群（金・銀・銅）



PGS採用イメージ(半導体パッケージ内の電気接続用極細ワイヤー[水色部])

問合せ ファインワイヤー事業部 ☎0774(66)5553 bonding_wire@tatsuta.com

社名変更のお知らせ

Kanadevia

Technology for people and planet

2024年10月1日、日立造船は「カナデビア」に社名変更いたしました。
140歳をこえて、自分の名前を変える。それほどの大きな決意を胸に、
日立造船はカナデビアに変わります。目指すは、地球と人が調和する未来。
私たちの技術が、世界中と奏でていくハーモニーに、どうぞご期待ください。



スマートフォンでちょっとミライなビルの暮らしを提供する 中小規模ビル向けのソリューションサービス「BuilMirai」のご紹介

近年、人件費高騰や人手不足などの社会課題を背景に、ビル管理の効率化などのニーズが大きく高まっています。大規模ビルでは専用のシステム構築により対応が進む一方で、中小規模ビルにおいてはコスト面や導入手法などの課題がありGX/DXが進みにくい状況でした。

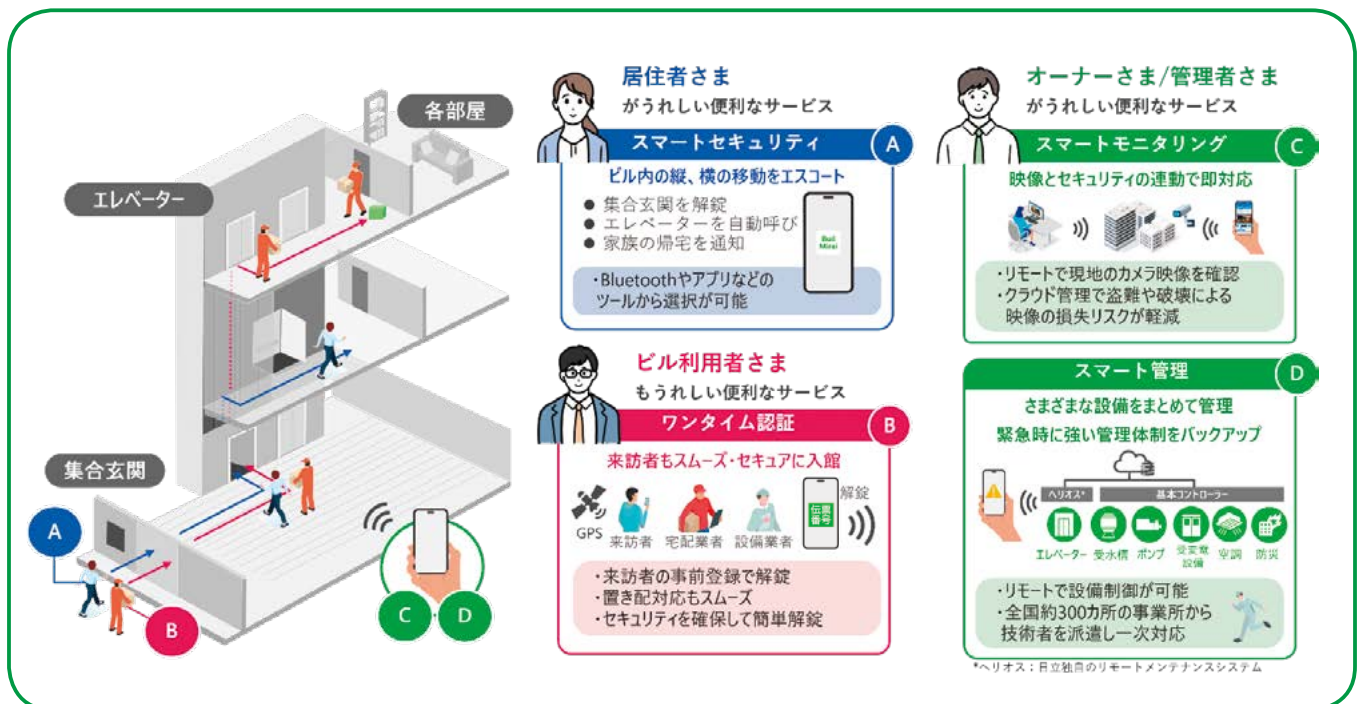
そこで弊社は大規模ビル向けIoTソリューションで培ったノウハウを生かし、新たに中小規模ビル向けソリューションサービスをコンパクトにパッケージ化した「BuilMirai」を開発しました。

中小規模ビル向けのソリューションサービス「BuilMirai」の特徴

- 1. スマートフォン対応で高い利便性を実現**
全てのサービスがスマートフォンに対応しており、時間や場所を選ばず利用できます。
- 2. サブスクリプションモデルで必要なメニューだけを利用でき、投資負担を軽減**
必要なメニューを選択するサブスクリプション形態とすることで、費用負担を軽減します。
- 3. マンションのセキュリティと快適性を向上**
それぞれのメニューを組み合わせることができ、マンションの住民以外の利用者の利便性も向上させることができます。

このような新しい「BuilMirai」のサービスは、マンションやオフィスだけに留まらず、さまざまな用途の建物でビルのちょっとミライなスマート化の実現をお手伝いします。

BuilMiraiの便利なサービス



ニュースリリース

商品の詳しい内容につきましては、日立ビルシステムまでお問い合わせください。
お問い合わせ先 ☎0120-7838-99（カスタマーサポートセンター）

お客さまの脱炭素経営に貢献 ～薄型軽量太陽光パネル&遮熱塗料のご紹介～

脱炭素に向けた動きが、世界的に加速している中、当社ではプロダクトパートナーと連携して、お客さまの脱炭素経営に寄与するCO₂削減ソリューションを開発しております。

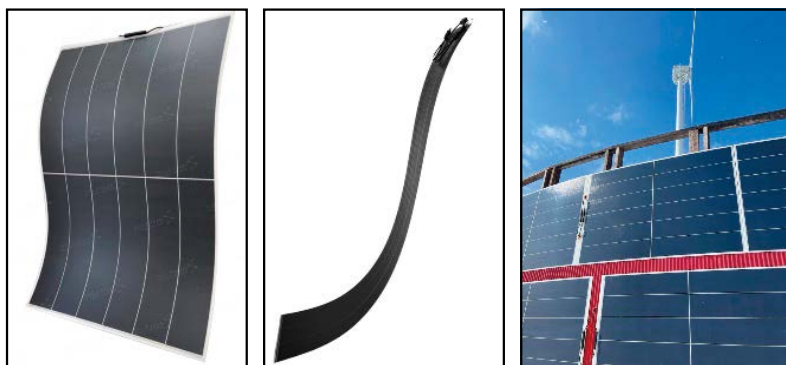
また、グループ全体で全国約300か所あるサービス拠点を活かして、導入工事から保守・運用までのトータルサポートが可能です。本誌では、下記2点のソリューションをご紹介します。

・薄型軽量太陽光パネル 株式会社SILFINE JAPAN「FINE-FLEX」(※1)

「FINE-FLEX」はシリコンモジュールなのに「曲がる」高出力・超軽量タイプの太陽光パネルです。

超軽量(約3kg/m²)およびフレキシブル構造のため、屋根のみならず、壁面などの曲面にも設置可能です。当社では、発電量やCO₂削減効果をシミュレーションし、的確な設備構成をご提案します。

FINE-FLEX



発電をもっと自由に !!

軽量かつ約120度曲がるため、屋根のみならず壁面にも設置可能。
「超軽量」「ガラス・フレームレス」「低反射」
「耐性・防水」「高い変換効率」
「運搬性」「施工性」に優れた太陽光パネルです。

(※1)「FINE-FLEX」は株式会社 SILFINE JAPANの登録商標です

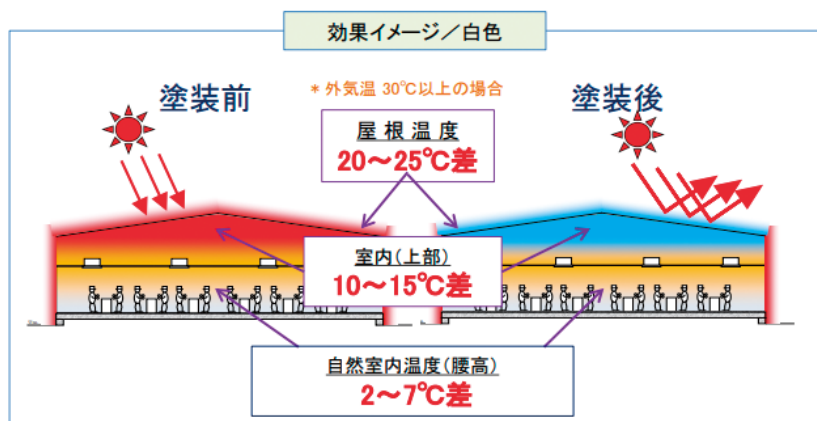
・遮熱塗料 NCK株式会社「アドクールAqua」(※2)

「アドクールAqua」は高い遮熱効果を持った遮熱塗料です。超微粒子ファインセラミックスを使用しており、熱を反射するだけの塗料ではなく、熱を放熱して熱ごもりを解消します。

夏の暑さはもちろん、冬でも塗膜による保温効果によりエアコンの温度設定を軽減できるため、電力消費を削減できるECOな塗料です。

アドクールAqua

屋根・外壁に塗るだけで！省エネ・節電・環境対策



暑さの原因となる“輻射熱”を抑制するには遮熱塗装が効果的です。遮熱塗料「アドクールAqua」は、太陽光高反射+放熱のダブル効果で、屋根の温度を大幅に抑制し、室内への熱ごもり(輻射熱)を解消します。本効果により空調負荷の抑制効果や労働環境改善に寄与します。

(※2)「アドクールAqua」はNCK株式会社の登録商標です

当社は、今後もお客さまの脱炭素経営サポートを通じて、持続可能な社会の実現をめざします。

問合先 営業統括本部 戦略企画部 ☎03(6262)8149

部屋ごと出掛けて憩うクルマ「MYROOM」シリーズ 『キャラバン』に続き、『NV200バネット』ベースモデルが登場

「MYROOM（マイルーム）」は、自分のお気に入りの部屋ごと自然の中に持ち込んで憩うことができる、新たな車中泊のカタチを提案するモデルです。今年8月、日産自動車よりシリーズ第一弾として「キャラバン MYROOM」が発売となり、12月には、第二弾として「NV200 バネット MYROOM」が発売となります。NV200 バネットは、キャラバンに比べてコンパクトなサイズで、日常の足としての使い勝手も兼ね備えた車両です。車中泊シーンでは、1人ならゆったり、2人でちょうど良くくつろげる仕様です。

MYROOMは、インテリアの全面を明るい木目調で仕上げ、クルマの内装感を払拭したナチュラルで洗練された空間としているのが特徴です。セカンドシートには、表裏で硬さの異なるクッションパッド構造を採用した「2 in 1シート」を装備し、乗車移動時には程よい硬さの面で身体をしっかり支え、駐車時には反転させて、柔らかなソファのような座り心地を提供します。

また、車両後方に設置したベッドマットとスライド式テーブルの組み合わせにより、リビングルームやベッドルームとして車内レイアウトを自在にアレンジできます。

「NV200バネット MYROOM」



シートアレンジを通常のドライブモードにすれば、5名乗車が可能。標準装備の「インテリジェント DA（ふらつき警報）」や、「踏み間違い衝突防止アシスト」など、運転支援技術も搭載しています

セカンドシートと後方の平置きベッドマットとの組み合わせでつくる、フルフラットベッドのサイズは全長×全幅＝1,840×1,200mm

「キャラバン MYROOM」



ベース車は、最上級の「グランドプレミアムGX」と、「プレミアムGX」の2グレードを用意。ドライブモードでは、5名が乗車可能です。内装は、後方のベッドマットの収納方式で「①折りたたみベッド」「②跳ね上げベッド」の2タイプから選べます。セカンドシートと組み合わせてのフルフラットベッド展開時のサイズは、全長×全幅＝①2,228／②2,192×1,204mm

MYROOM 公式サイト

<https://www3.nissan.co.jp/vehicles/new/nv200vanette/specifications/myroom.html>

<https://www3.nissan.co.jp/vehicles/new/caravan/specifications/myroom.html>

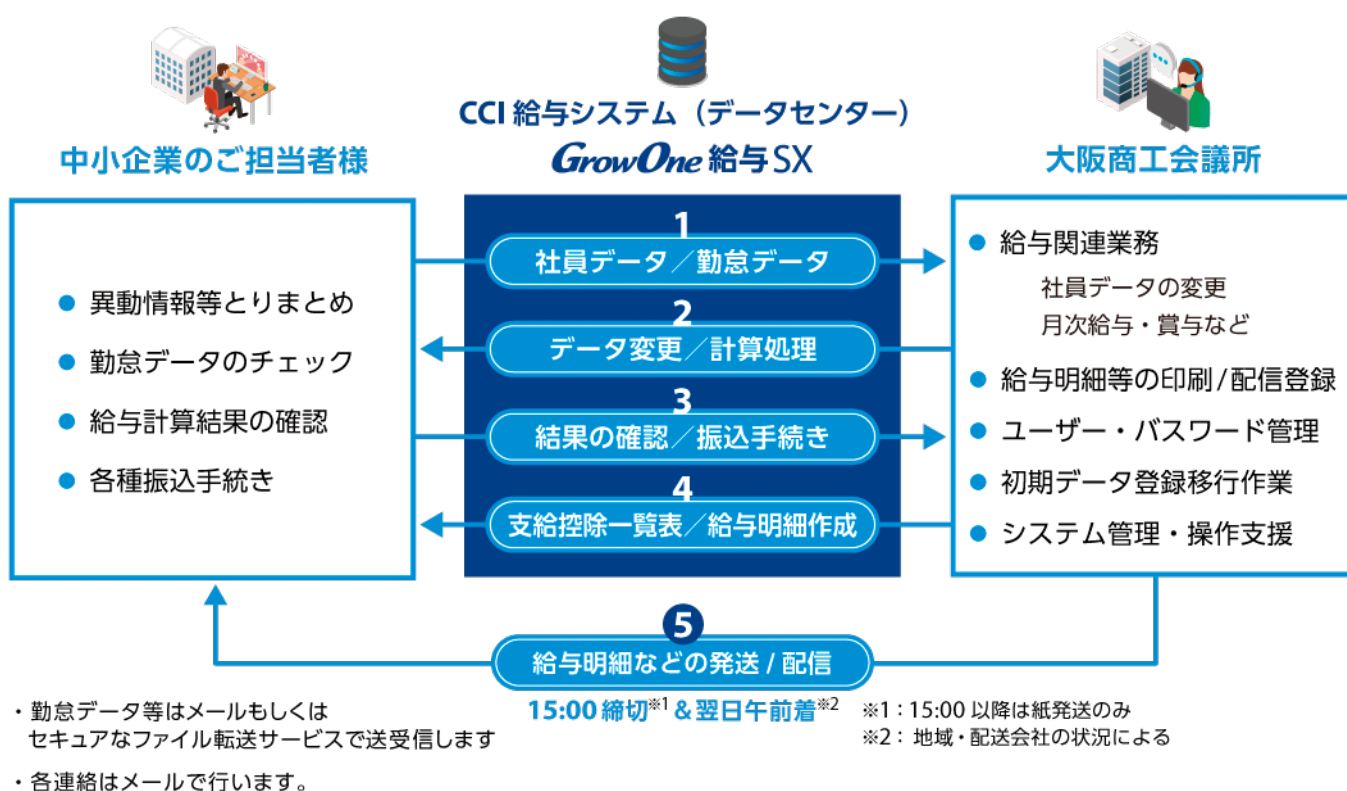
大阪商工会議所が50年以上にわたり提供してきた給与計算アウトソーシングサービスの基盤を給与計算システム「GrowOne 給与SX」に刷新

2024年6月より、大阪商工会議所の新たな給与計算アウトソーシングサービスの基盤として、給与計算システム「GrowOne 給与SX」の提供を開始いたしました。

大阪商工会議所では、50年以上にわたる給与計算アウトソーシングサービスにおける豊富な実績を活かし、中小企業にサービスを提供しています。

■サービス概要

本サービスは、ニッセイコムの給与計算システム「GrowOne 給与SX」を基盤として、大阪商工会議所がお客様の給与計算業務を代行するサービスです。大阪商工会議所の給与計算スタッフが、給与計算に関する業務全般を迅速・安全・確実に代行します。また、給与計算に関する法改正についても、迅速に対応でき、企業のコンプライアンス体制の強化にも寄与します。



給与計算業務のアウトソーシングサービス概要

■ご利用料金

初期設定費用：1,000円／名～

※50,000円に満たない場合は、50,000円を下限といたします。

月額利用料：500円／名～

※20名以下は20名分の料金をご請求します。

詳細・お問い合わせはこちら

<https://www.nisseicom.co.jp/growone-sx/pr-outsourcing.html>

特集

わが社の憩いの場

今回は、社員の交流の場として気軽に集まることができるコミュニケーションエリア、ほっと一息つける眺めの良いリフレッシュスペース、仕事の英気が養われる癒しの施設、社員が設置に参画したお気に入り空間、地域にも親しまれる安らぎの場所など各社の「憩いの場」をご紹介します。

日産化学

憩いの場、それぞれ

2つの憩いの場を紹介します。1つ目の憩いの場は本社のコミュニケーションエリアです。本社は2018年に現在の日本橋に引越しました。その際、フリーアドレス制が導入され、多目的スペースとしてコミュニケーションエリアが設けられました。壁面に緑を配置し、カフェで仕事をしているような雰囲気が味わえます。昼食や休憩にも使われ、このエリアのおかげで、昼食時間を逃してしまった際に、執務スペースで遠慮しながら食事をしなくても良くなりました。今年4月には読書同好会が発足し、会員おすすめの本を集めたミニミニ図書館がエリアの雑誌書架の上にできました。おかれている本の書評はweb社内報に掲載されており、会員の押しの本のお薦め度が良くわかります。これからどんどん増えていくのが楽しみです。窓からは、東京タワーや東京駅から発車した電車などが見え、お茶やコーヒーを淹れながら、ぼーっと景色を見てみると、気分転換になります。

もう1か所は富山にある材料科学研究所内の休憩コーナーです。2020年に新フレックスタイムが導入された際に、休憩を取りやすくすることを目的に設けられたスペースです。カウンター席、ブース席、そして小上がりの座敷があります。カウンター席からは、天気の良い日には雄大な立山連峰が望めます。特に、この休憩コーナーで特徴的なのは座敷エリアです。丸太を切り出した机と座布団が設置されており、いざという時には救護にも利用できるようになっています。やはり、日本人、靴を脱いでくつろぐと、頭もリフレッシュ。いつもとは違ったアイディアが浮かぶかもしれません。



コミュニケーションエリア



ミニミニ図書館



座敷の休憩室

都心を眺望できる「X PLAZA」

当社の本社「ENEOSビル」は皇居・大手門と永代通りに面し、17階にある社員食堂^{みらい}「X PLAZA」からは都心にありながら広大な緑地を見渡せます。フリーアドレスとなった部署の多い当社では、気分転換にここで仕事をしている人、またコーヒーを片手に会議をするグループを見かけます。窓から木々を眺めていると、日によっては東御苑内を回る馬も見ることがもあり、パソコン仕事による目の疲れも癒されます。

ユニークな建造物も視界に入ります。北の丸公園にある旧近衛師団司令部庁舎は1910（明治43）年に竣工。レンガ造りの洋風建築で、国指定重要文化財となっています。現在は外観を見ることしかできませんが、2020（令和2）年までは「東京国立近代美術館工芸館」であったため、入館できました。

大正期の建造物としては皇宮警察本部庁舎があります。かつては枢密院だった建物で、4本のギリシャ・ドリス式の柱に支えられている正面玄関は重厚感を漂わせています。1921（大正10）年に完成、戦間期から終戦直後の政治の舞台となった歴史の“証人”ですが、本会議は宮城（皇居）内の別の場所で行われていたとのことです。

昭和期の建造物であるパレスサイドビルは外観・内装ともに独創的なデザインです。1966（昭和41）年に竣工したこの建物はDOCOMOMO Japan主催の「日本の近代建築20選」にも選ばれています。飲食店を含む商業施設もあることから、実際に訪れて、戦後高度成長期の雰囲気を感じることができます。なお、当社の源流の一つである東燃の本社も一時期ここにありました。

新宿方面を見渡すと平成期の建造物も目に入り、時代の変化を感じます。PCのモニターから目を移してひと休みするには最高のロケーションです。



ENEOS本社ビル17階^{みらい}「X PLAZA」



旧東京国立近代美術館工芸館
著作者: jmho (パブリック・ドメイン)



皇宮警察本部庁舎（旧枢密院庁舎）
著作者: Gungun01 CC 表示-継承 3.0, <https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=30300770>による



パレスサイドビル
著作者: Kakidai, CC 表示-継承 4.0, <https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=54353627>による

ゆっくりと過ごせる癒しの場所

日々の仕事に疲れた時に、ゆっくりと疲れを取るのに最適なわが社の憩いの場所は、保養所「サン・アンド・サン荘 伊豆高原」です。ロジスティードグループの保養所として静岡県伊東市に設立されたこの施設は、「和」のホスピタリティーと、寛ぎの空間を全ての従業員に提供しています。

館内には、和と洋が調和した木の香りがあふれる空間に、ゆったりくつろげる、全て造りが異なる雰囲気のある客室（9室）と露天風呂付き温泉（岩風呂と檜風呂）、食事処、娯楽施設があり、のんびりと過ごすことができます。庭には手入れされた樹木があり、客室からは緑がよく見えます。1泊2食付きの宿泊で提供される夕と朝の料理は、海の幸・山の幸に

恵まれた土地ならではのバラエティーに富んだボリュームある食事をいただけます。季節ごとに献立が2種類用意されているので、連泊しても、何度訪れても、毎回違う料理を楽しむことができます。特に地元で採れる魚や伊勢海老のお刺身が人気です。温泉に入り、庭を散策するなど、ゆっくり保養所だけで楽しむのもよいですが、近くには大室山や美術館、博物館、海でマリンスポーツなどレジャーも豊富なので、観光の拠点としても最適です。ゆっくりと休日に滞在して、仕事への英気を養う。私たちにとってそんな場所がこの保養所です。また日々の仕事をがんばり、癒されに訪れたいと思います。



保養所の外観



和風の客室



檜の露天風呂



緑を眺めながらの朝ごはん

緑が広がるオフィス街

三菱HCキャピタルは2021年に三菱UFJリースと日立キャピタルが経営統合して誕生、現在は丸の内と西新橋にメインオフィスを構えています。オフィスにはさまざまな働く空間がありますが、特にコミュニケーションエリアと呼ばれるオープンスペースは、チームメンバーや他部署の人と気軽に集まり、打ち合わせやランチを楽しむ憩いの場として利用されています。また在籍拠点以外でも効率的に業務ができるようにサテライトオフィスの活用を推進しています。社員が自らの業務に応じて働く場所を選択できる、多様で柔軟な働き方を後押ししています。

【丸の内オフィス内の一押し】

業務の合間に息抜きする際には、外の景色を楽しむことができます。東京駅や皇居など、さまざまな景色がオフィスから一望でき、また時折、新任の外国大使が天皇陛下に信任状を捧呈するための儀式で馬車が通過するなど、貴重な光景を目にすることもあります。

【オフィス周辺の憩いの場】

オフィスの周りには緑が広がっており、リフレッシュできる場所も充実しています。美しい街路樹の通りを散歩したり、ベンチで一休みしたり、皇居マラソンで汗を流したりすることで、リフレッシュしながら仕事に取り組むことができます。

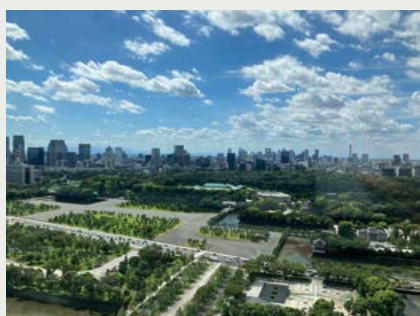
三菱HCキャピタルは、2028年度に新たな本社オフィスに移転する予定です。今後はワークショップや社内アンケートを通じて社員の声を取り入れ、個々の社員が生き生きと働き、能力を最大限に発揮できる環境を作り出すことをめざしています。新しい本社オフィスが私たちの新たな憩いの場となるような取り組みを進めています。



丸の内オフィス コミュニケーションエリア



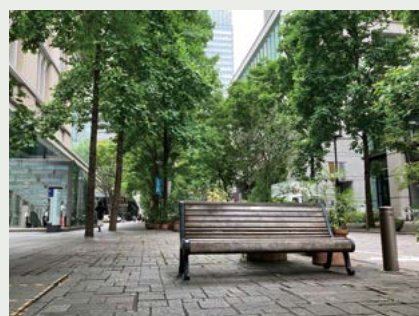
西新橋オフィス サテライトオフィス



窓からの景色（皇居）



窓からの景色（東京駅）



お気に入りのベンチ

仲間を想うこだわりやアイデアが詰まった、居心地のいい空間をつくるプロジェクトが進行中

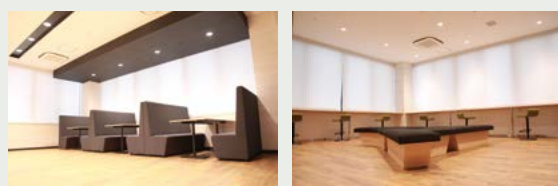
当社は、クルマの開発から生産、品質保証までを一貫して行うため、主要な3つの拠点を擁しています。神奈川県平塚市堤町にある「本社・湘南工場」と、開発や試作車生産などを行う平塚市大神の「テクノセンター」および、実験施設がある秦野市の「秦野事業所」です。当社生産車のユーザーの皆さまにご満足いただける商品を提供するため、互いに連携を取り合いながら、日々業務に努めていますが、昨今では、いずれの拠点においても、建物の老朽化によるオフィス満足度の低下が課題となっていました。そこで、当社を支える次世代従業員に「ずっとここで働きたい」と思ってもらえるオフィス、「いきいきと働ける」場所をつくることを目指して、2023年度、『オフィスリニューアルプロジェクト』をスタートさせました。本プロジェクトは、各部署から集まったオフィスリニューアル推進チームのメンバーが、自ら学び、考えた計画を最大限尊重し、2024年4月、新入社員を迎える時期に合わせて運用を開始しました。

今回ご紹介するのは、プロジェクトの一部、「本社・湘南工場 本館1階ロビー」、「テクノセンター」のオフィスリニューアルです。おしゃれな空間を目指し、木材を多用するなど材料選びにもこだわり、お客さまにも「また来たい」と思ってもらえる空間に仕上がりました。

本社・湘南工場 本館1階ロビー

入館ドアが開くと、木のぬくもりたっぷりで、明るく広々とした空間が出迎えます。当社生産車の情報発信の場としても機能させ、普段見ることのできない車両の展示や、大型モニターによる会社紹介動画の放映を行っています。2024年度はこれに加えて、日産車体歴史エリアを増設していく予定です。

(リニューアル推進リーダー 総務部 主管 田中健一郎)



ソファやカウンターチェアは、お客さまとの商談、他拠点から来た従業員との打ち合わせ、コーヒーを飲みながらホッとひと息など、さまざまな使われ方をしています。

テクノセンターのオフィス

「ゆるいつながりも大切にした“行きたくなるオフィス”」をコンセプトに、グリーンを多用した交流スペース『Park』や、カフェ風の『Pit』を設けました。集中作業による生産性向上に加え、雑談から新たな発想が生まれ、創造的アウトプットが出ることを期待。「気分転換したいと思ったときにParkを使う」「雰囲気明るくていい！」など、社員の反響も上々です。

(プロジェクト発起人 理事 鈴木拓也)



Park



Pit

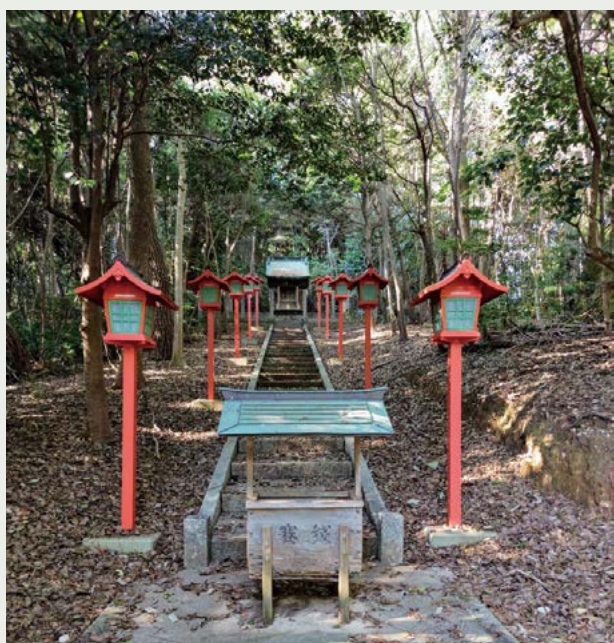
玉福稲荷神社

当社愛知事業所は3工場を擁し、当社の中で従業員数が最も多い事業所です。中でも、武豊工場は、1919年創立帝国火薬工業(株)武豊製造所を起源とし、100年以上の歴史があり、火薬類を製造しております。東京ドーム約30個分の広大な敷地を有しており、一見すると火薬を作っているとは思えないほど木々に囲まれた自然豊かな工場です。この武豊工場に隣接し、木々に覆われた工場の守り神が今回紹介する玉福稲荷神社です。

玉福稲荷神社の名前の由来には逸話があります。帝国火薬工業建設当時、この地は、原始林の生い茂る野生動物の天国でした。建設工事の際に、多くの動物たちは、追われて他の山へ移動しましたが、一

つの穴だけは毎朝新しい足跡がついており、土工達が生け捕ろうと穴を煙で燻しました。中には自分の体で穴を塞いで死んだ親狐と、生き残った二匹の子狐がおり、この話を聞いた当時の所長は、狐は商売繁栄の神の使いであると考え、子狐の牡に玉、牝に福と名付けて大切に育て、大正11年にこの地に稲荷神社を建立したとのことでした。

玉福稲荷神社は、当社敷地内の当社のお稲荷様でありながらだれでも参拝できるように開放しています。木々に囲まれた境内は、従業員の安らぎの場になっており、毎年11月第1週休日前には、例大祭を盛大に執り行い、従業員に加え、近隣住民の代表である各区長様や関係会社の方を来賓に迎え、工場の繁栄と安全を祈願しています。また、大晦日から元旦に掛けての初詣で、年越しそばやつきたての餅などを振舞い、従業員だけでなく地域の住民の方々もお迎えし、毎年約300人に参拝していただいています。



本殿



入口の鳥居



例大祭



初詣

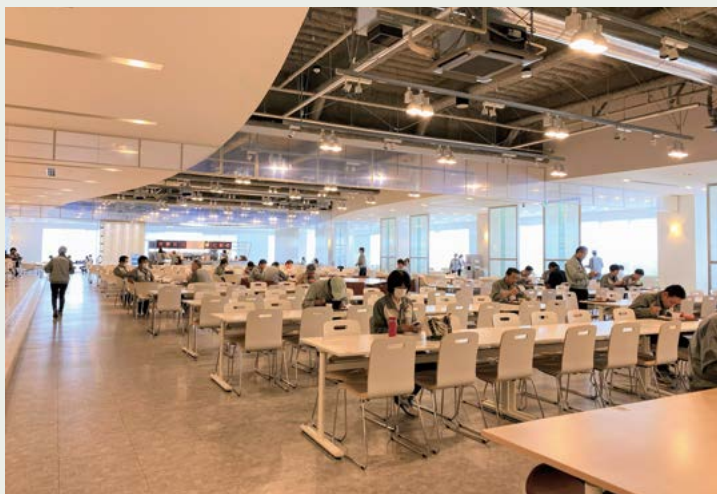
社員の元気の源！ライブキッチンやオリジナルブレンドコーヒーが楽しめる「nanohana食堂」

「nanohana食堂」は、日立ハイテク那珂地区（茨城県ひたちなか市）にある社員食堂です。那珂地区は半導体計測・検査装置の設計・開発・製造を行っていることから、食堂立ち上げ時に関わっていたメンバーによって、半導体のサイズ単位「ナノ」＋「明るいイメージ」に由来してこの名が付けられました。

昼休みには多くの社員が集まる食堂ですが、中でも目を引くのは、シェフが目の前で調理してくれる「ライブキッチンコーナー」。提供されるメニューはキーマカレーオムライスやハンバーガー、茨城県を代表するブランド豚肉「ローズポーク」を使用したシチューなど、日によってさまざまです。目の前で料理が出来る様子を楽しむことができ、午後の業務への活力を養っています。

食堂に併設されたカフェコーナーでは、茨城県に本社を置くコーヒーショップ「サザコーヒー」のドリンクを味わうことができます。食堂のオープン当時は缶コーヒーが流行していたことから、食堂でも手軽に飲めるコーヒーを提供したいという思いで導入されました。コーヒーは他の店舗では飲むことができない「ハイテクオリジナルブレンド」を使用しており、一日に150杯売れることもあるほど人気です。

また、ミーティングの場として使用できるスペースもあり、定時後の懇親会でも活用されるなど、昼休み以外の時間も常に社員が集まり、にぎわっています。「nanohana食堂」は単なる社員食堂ではなく、「コミュニケーションが増える場所」として、業務の息抜きやアイデアを生み出すきっかけになっています。



白を基調としたインテリアで、広々とした空間です



ライブキッチンの様子。撮影時のメニューはキーマカレーオムライス



カフェコーナーでは、コーヒー以外にも季節限定ドリンクや軽食も販売しています



2024年10月～12月 第25回春光懇話会キャンペーン展開中!

春光懇話会営業部会の「ビジネス交流強化キャンペーン」は今年で25回目を迎えました。これもひとえに皆さまの温かいご支援、ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

第25回キャンペーン活動では昨年と同じく営業部会会員集合して合同展示会、決起大会・懇親会を実施しました。

合同展示会では会員各社が商材PRを行うことで、お互いの会社を改めて知る機会になりました。また、決起大会では営業部会会員が親睦を深めることができ、営業部会活性化につながっています。今後も営業部会活動を前進させていく所存ですので引き続きご支援方、よろしくお願いいたします。



キャンペーンは大きく以下の3点を主眼にして取り組んでいます。

- ① 会員企業間でお互いのビジネス拡大を図ること
- ② 会員企業の商品を数多くご利用いただき、その良さを知っていただくこと
- ③ グループ企業の従業員とご家族の皆さまに広く春光懇話会を知っていただくこと

第25回キャンペーンの具体的な取り組みは次の通りです。

1. 春光会ホームページに会員企業が希望する商品などをタイムリーに掲載していただけますので自社商品の販売拡大のため、積極的なご活用をお願いします。
2. 春光懇話会を多くの方に知っていただく目的で今回も春光クイズを実施しました。
クイズに関しましては12月初旬に抽選会を行い、当選者には年内に賞品をお届けします。お楽しみにお待ちください。
今後もキャンペーン時にクイズ応募を実施する予定ですので引き続きご応募をいただきますようお願いいたします。

お知らせ

●社名変更

カナデビア←日立造船 (24.10.1)

●代表者交替

HTB-BCDトラベル

ジョナサン・スィー・ワイ・ガオ←大谷一彦

●地域春光懇話会会長就任

・ベネルクス春光懇話会

長坂 幹俊 Hitachi Construction Machinery
(Europe) B.V. Manager

・バルセロナ春光懇話会

鈴木 敦士 Nissan Motor Iberica S.A Director

お詫びと訂正

189号(2024年8月発行) お知らせの中に誤りがありました。正しくは下記です。

●地域春光懇話会会長就任

・サンフランシスコ春光懇話会

野部 大介 Hitachi America, Ltd. Vice President

謹んでお詫びし訂正いたします。

合同展示会・キャンペーン決起大会開催

第25回キャンペーンスタートに当たり、2024年9月18日(水)に合同展示会、キャンペーン決起大会を上野イーストタワーにて開催しました。

合同展示会は11時から16時まで開催し、春光懇話会会員各社を中心に160名の来場客がありました。展示会では18社が出展し商材PRを行いました。改めて会員各社を良く知る機会になり、その場で商談につながるケースもありました。

続けて合同展示会後には16時30分からキャンペーン決起大会を同会場で行いました。決起大会ではNIPPOの朝長キャンペーン実行委員長ご挨拶の後に6社からの企業PRを行い、最後にキャンペーン成功への意思結集を参加者全員で行いました。

その後、130名が参加し、懇親会を行いました。懇親会ではサッポロビール社提供のビール、ワインの抽選会やグループリーダーからのキャンペーンに懸ける熱い思いを込めた行動宣言を行いました。

懇親会自体は短時間でしたが、この機会に会員同士で大いにビジネス交流ができました。

最後に営業部会ではキャンペーンに加えてビジネス協業会を活用して会員間のビジネス交流が盛んになっており、多数の成果が出ています。今後も一層の営業部会活性化を図っていききたいと思います。

合同展示会



キャンペーン決起大会



挨拶
朝長キャンペーン実行委員長

企業PR
日産自動車

企業PR
日産緑化

企業PR
SOMPOケア



企業PR
日立造船



企業PR
日立プロパティアンドサービス



企業PR
日立建機ソリューションズ



全員確認事項
山下幹事

地域春光懇話会 MAP

国内 52 か所

札幌春光懇話会	京滋春光懇話会	福岡春光懇話会
函館春光懇話会	兵庫春光懇話会	北九州春光懇話会
釧路春光懇話会	奈良春光懇話会	佐賀春光懇話会
北見春光懇話会	和歌山春光懇話会	長崎春光懇話会
十勝春光懇話会	山陰春光懇話会	佐世保春光懇話会
青森春光懇話会	岡山春光懇話会	熊本春光懇話会
盛岡春光懇話会	広島春光懇話会	大分春光懇話会
仙台春光懇話会	山口県春光懇話会	宮崎春光懇話会
秋田春光懇話会	徳島春光懇話会	鹿児島春光懇話会
山形県春光懇話会	高松春光懇話会	沖縄春光懇話会
福島春光懇話会	愛媛春光懇話会	
茨城春光懇話会	高知春光懇話会	
栃木春光懇話会		
群馬春光懇話会		
埼玉春光懇話会		
千葉春光懇話会		
東京多摩春光懇話会		
神奈川春光懇話会		
信州春光懇話会		
山梨春光懇話会		
新潟春光懇話会		
石川春光懇話会		
富山県春光懇話会		
福井春光懇話会		
岐阜春光懇話会		
静岡県春光懇話会		
愛知春光懇話会		
豊橋春光懇話会		
三重春光懇話会		
大阪春光懇話会		

海外 28 か所

シンガポール春光懇話会
 ロンドン春光懇話会
 ニューヨーク春光懇話会
 ロサンゼルス春光懇話会
 香港春光懇話会
 デュッセルドルフ春光懇話会
 ジョージア春光懇話会
 マレーシア春光懇話会
 台湾春光懇話会
 ベネルクス春光懇話会
 デトロイト春光懇話会
 パリ春光懇話会
 カナダ(トロント)春光懇話会
 ジャカルタ春光懇話会
 バルセロナ春光懇話会
 サンフランシスコ春光懇話会
 バンコク春光懇話会
 マニラ春光懇話会
 上海春光懇話会
 広東春光懇話会
 オーストラリア春光懇話会
 北京春光懇話会
 ドバイ春光懇話会
 ベトナム春光懇話会
 韓国春光懇話会
 ミャンマー春光懇話会
 南アフリカ春光懇話会
 大連春光懇話会



一大情報発信地としての発展～豊洲～

2022年の春に豊洲に移転して3年目を迎えるプロテリアルは、豊洲駅から晴海通り沿いに東雲方面に徒歩約3分のところにある「豊洲プライムスクエア」に本社を置いています。

豊洲プライムスクエアは、2010年に竣工された、1フロア900坪超のオフィスビルで、耐震性の高い構造柱を採用し最高水準の安全性・機能性を擁しています。

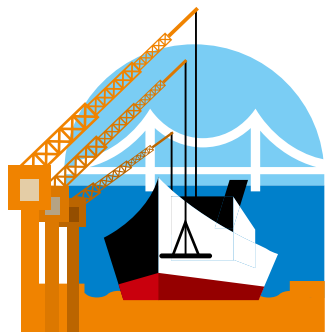
プロテリアルは、COVID-19の影響が拡大した当時、大都市圏の本社・支社などで在宅勤務を推進し、生産拠点においても安全安心で効率の良い働き方を追求してきました。現在も新たな働き方を構築し、これに合わせて、創造性を高めるオフィス、コミュニケーションの充実、スペース効率化というコンセプトのもと、グループアドレスの適用などでオフィス環境を整備し、生産性向上を図っています。



豊洲プライムスクエア外観

【街の歩み】

豊洲は大正時代から昭和にかけての埋め立てで生まれた土地で、昭和初期には造船工場などが立地し東京都港湾局の専用鉄道が敷設されるなど、日本産業の発展に貢献してきました。再開発以降はタワーマンションとオフィスビルが立ち並び、かつての重工業地域のイメージとかけ離れていますが、周辺の歩道や植え込みには、造船所や船のパーツがそのままオブジェとして存在していることや、専用鉄道の遺構が残っていることなど、変化の歴史が窺えます。



【これからの豊洲】

都心部へのアクセスのよさが注目され、1990年代の再開発以降、現在も東京湾岸エリアきっての目覚ましい発展が続いています。複合商業施設の立地や、中央卸売市場が移転したことなどで注目を集めた豊洲エリアですが、活況なインバウンド需要のさらなる取り込みを意図して豊洲市場に隣接する商業施設の拡大や、地下鉄延伸といった再開発が今後も進む予定で、日本を代表する情報発信地の1つとして成長し続けるとともに、その存在価値をさらに高めていくことでしょう。

プロテリアル 本社

東京都江東区豊洲5丁目6番36号 豊洲プライムスクエア
☎0120-603-303 (代表)



案内図

豊洲プライムスクエア

東京メトロ有楽町線、ゆりかもめ線「豊洲」駅 徒歩3分